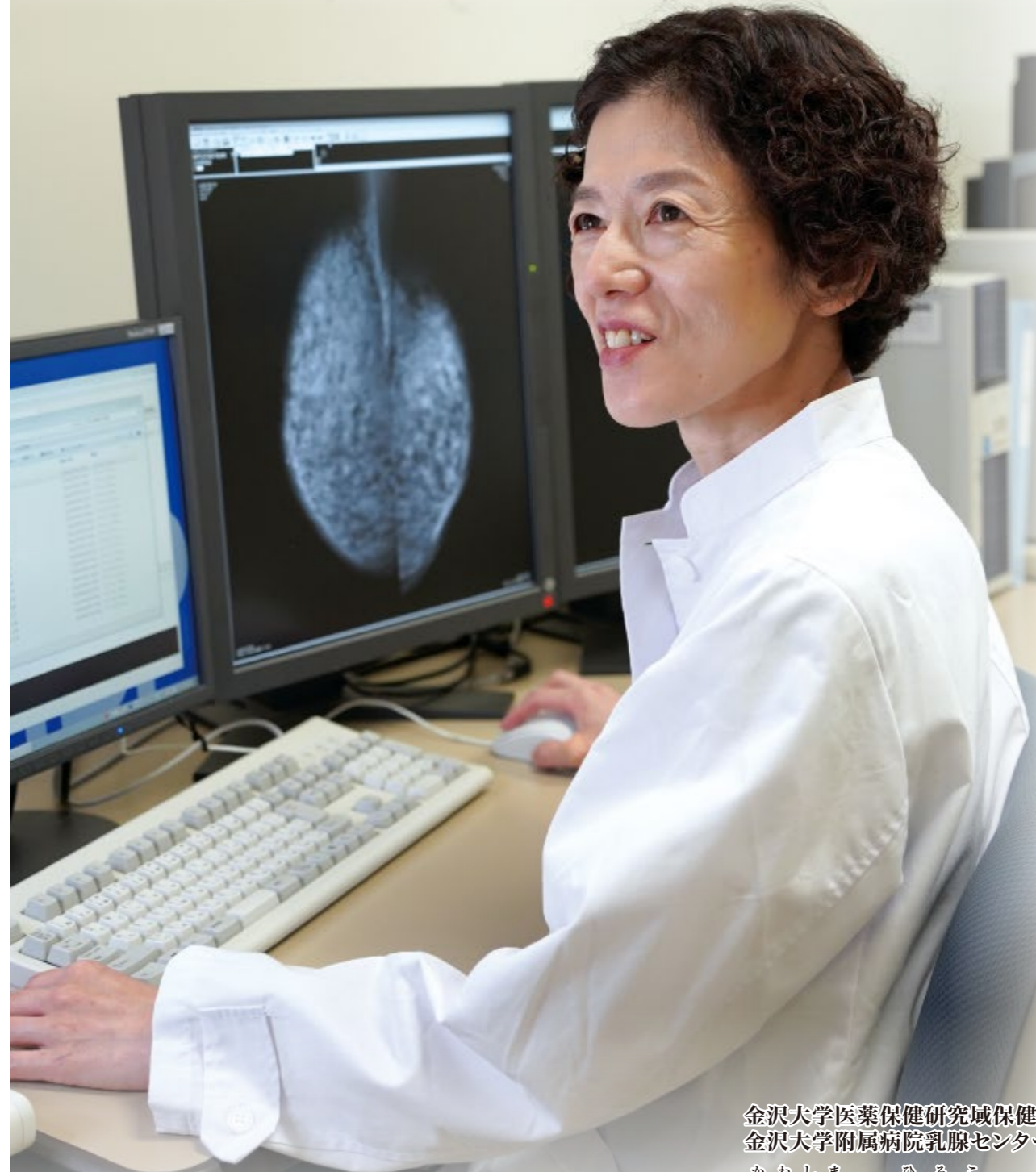


画像診断の基本を知って 乳がん検診を効果的に



金沢大学医薬保健研究域保健学系教授
金沢大学附属病院乳腺センター長
かわしま ひろこ
川島 博子氏

1990年 金沢大学医学部医学科卒業
1991年 シカゴ大学放射線科留学
1992年 金沢大学附属病院放射線科医員
1997年 金沢大学附属病院放射線科助手
2006年 金沢大学附属病院放射線科講師
2009年 金沢大学医薬保健研究域保健学系准教授
2010年 金沢大学医薬保健研究域保健学系教授
2020年 金沢大学附属病院乳腺センター長兼任

欧米に比べて少ないとされてきた日本人の乳がんですが、生活様式の変化とともに罹患率が年々上昇しています。自分の身を守るために大切なのは、やはり早期発見。日本では数少ない乳腺画像診断の専門医、川島博子金沢大学附属病院乳腺センター長にお話を伺いました。

マンモグラフィ検査では 乳腺濃度に注意すること

乳がんは乳腺にできる悪性のしこりで、日本では今、女性の9〜10人に一人は乳がんにかかると言われていました。遺伝性のものであるのですが、それは全体の数パーセントに過ぎません。よって、誰がいつかかってもおかしくない病気です。

若い人から高齢者まで、年齢に関係なく罹患しますが、日本では40代と60代がピークとなるので、国は40歳から2年に1度、マンモグラフィ検査を推奨しています。マンモグラフィとは乳房のX線撮影で、乳房を平たく伸ばして撮影しますから、触診では見つけにくい小さな病変などを発見することができます。

また最近では、CTのように多数の断面画像を取得する3Dマンモグラフィ（トモシンセシス）の導入も進んでいます。通常のマンモグラフィは、一方向から撮影した平面的画像のため乳腺が密集していると病変が見つけにくかったのですが、トモシンセシスは多方向から撮影して立体的に再構成するので病変が読み取りやすくなりました。

マンモグラフィ検査で要注意なのが「高濃度乳房」です。乳房は主に乳腺と脂肪から成っており、乳腺の密度が高いものを「高濃度乳房」と呼んでいます。マンモグラフィでは、X線の通りやすい脂肪は黒く、通りにくい乳腺は白く映り、しこりも同様に白く映るため、「高濃度乳房」では画像が全体的に白っぽくなり、乳腺に埋もれている病変を発見しにくいのです。

そこでお勧めしたいのが、超音波（エコー）検査の併用です。この検査は超音波を乳腺に当て、反射によって得られた画像で診断を行います。「高濃度乳房」であっても病変が判別しやすい上、検査の際に痛みや被ばくを伴うことがありません。ただ、検査に一定の時間がかかります。検査をする人の技量によって結果が左右されやすいため、集団検診での導入はなかなか難しいと言えます。

自分の乳房のタイプに合った 画像診断を受けましょう

画像診断は読影者の技能が結果に大きく影響するものですが、日本には乳腺の画像診断を専門とする医師が非常に少なく、大半の病院では乳腺外科医が画像診断から手術、抗がん剤治

療などのほとんどを受け持っているのが現状です。金沢大学附属病院には、私のような乳腺専門の画像診断医が在籍する乳腺センターがあり、地方では極めて稀な例だと思っています。

センターには、検診で「要精検」と言われた方が日々来院し、精密検査を受けています。がんではない場合がほとんどですし、万一発見されて手術となっても、検診発見の場合は多くの方が術後を元気に過ごされています。「乳がん検診を受けたことがない」と言う方が本当に多いので、まずはマンモグラフィ検査から受けていただきたいと思います。

アメリカでは乳腺濃度の情報を本人に通知するよう義務づけられています。日本に通知義務はありません。ただ、市町村によっては検診結果に付記しているところもありますし、問い合わせれば教えてもらえると思います。

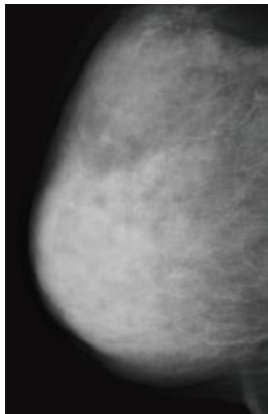
もし、自分が「高濃度乳房」であることがわかった場合には、医療機関や人間ドックなどでエコー検査を受けることをお勧めします。逆に「脂肪性乳房」である場合には、マンモグラフィ検査を継続してください。

また、毎年違う検診機関で検査を受ける方を時々見受けられますが、お勧め

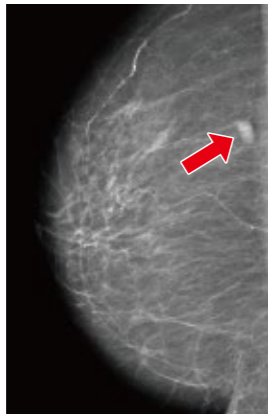
できません。検査画像は5年間保管することになっていて、同一機関で受けるとデータが蓄積され、診断の際により有効に利用することができます。

がんも乳房も人それぞれ。他人の例はご自身には当てはまりません。情報に流されたり素人判断したりせず、早期発見のためにまずは、信頼できる機関での継続検診をお勧めいたします。

高濃度乳房



脂肪性乳房



高濃度乳房(左)と脂肪性乳房(右)のマンモグラフィの画像。脂肪性乳房の方には小さな乳がん(矢印)が描出されている。もしこのような小さな乳がんが左画像のような高濃度乳房にできたら、病変は見つけにくい